



平成 21 年 5 月 15 日

各 位

会社名 日本精鉱株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 岩山 統  
 (コード番号 5729 東証 市場第 2 部)  
 問合せ先 常務取締役企画管理部長 鳩川勝美  
 (TEL. 03-3235-0021)

### 平成 21 年 3 月期 (連結・個別) 業績予想との差異に関するお知らせ

平成 21 年 1 月 30 日に公表しました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」のうち、業績予想と本日公表の業績数値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

#### 記

(1) 平成 21 年 3 月期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) 通期業績予想との差異  
 【連結】 (金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	7, 500	△ 345	△ 350	△ 380	△ 29 円 39 銭
今回発表業績 (B)	7, 163	△ 513	△ 518	△ 443	△ 34 円 52 銭
増減額 (B) - (A)	△ 337	△ 168	△ 168	△ 63	—
増減率 (%)	△ 4. 5 %	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 平成 20 年 3 月期	9, 778	747	714	259	19 円 95 銭

【個別】 (金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4, 500	△ 120	△ 75	△ 195	△ 15 円 08 銭
今回発表業績 (B)	4, 113	△ 345	△ 300	△ 284	△ 22 円 10 銭
増減額 (B) - (A)	△ 387	△ 225	△ 225	△ 89	—
増減率 (%)	△ 8. 6 %	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 平成 20 年 3 月期	5, 518	209	238	148	11 円 44 銭

(2) 差異の理由

前回発表予想 (平成 21 年 1 月 30 日) の時点でも収益性の低下に伴う製品、原材料のたな卸資産の評価損を見込んでおりましたが、想定以上の収益性の低下およびたな卸資産の増加等により、評価損がアンチモン事業で 316 百万円、金属粉末事業で 62 百万円発生したことが今回の営業損失、経常損失、当期純損失の金額が予想数値より増加した主たる理由であります。なお、期末配当金の予想につきましては、平成 21 年 1 月 30 日公表の 1 株当たり 2 円 (中間配当金と併せて 6 円) は修正いたしません。

以上